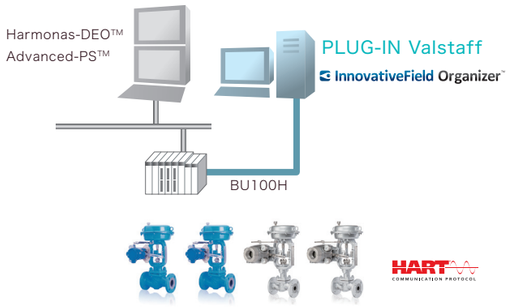
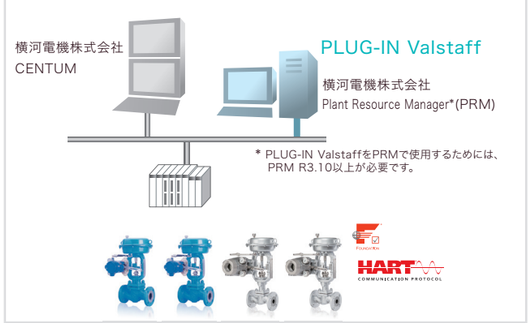
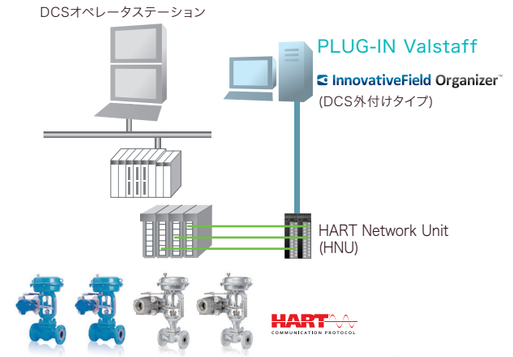
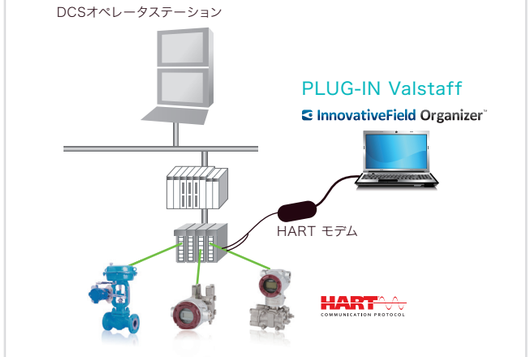
PLUG-IN Valstaff システム構成 ①　DCSと組合わせた構成





PLUG-IN Valstaff システム構成 ②　DCSに依存しない構成





対応しているスマート・バルブ・ポジショナ

スマートESDデバイス
700シリーズ

形 AVP77□/78□/79□
(緊急遮断弁形)
HART COMMUNICATION PROTOCOL

700シリーズ

形 AVP701/702
(一般形)
HART COMMUNICATION PROTOCOL
形 AVP703
(一般形)
FOUNDATION Fieldbus

300シリーズ

形 AVP302
(一般形)
HART COMMUNICATION PROTOCOL

300シリーズ

形 AVP307
(一般形)
HART COMMUNICATION PROTOCOL

200シリーズ

形 AVP202
(分離形)
HART COMMUNICATION PROTOCOL

形 SVX102
(回転弁専用)
HART COMMUNICATION PROTOCOL

ご注文・ご使用に際しては、見積・契約基本条件（下記URL）を必ずお読みください。
https://www.azbil.com/jp/product/factory/estimate.html
あわせて「ご注文・ご使用に際してのご承諾事項」（下記URL）をお読みください。
https://www.azbil.com/jp/product/factory/order.html

●CENTUM、PRM は横河電機株式会社の商標または登録商標です。
●HART、FOUNDATION Fieldbusは、FieldComm Groupの商標です。
●InnovativeField Organizer、Valstaff はアズビル株式会社の商標です。
●本文中に記載している製品名、機種名、社名は、各社の商標または登録商標です。

［ご注意］ この資料の記載内容は、予告なく変更する場合もありますのでご了承ください。
本資料からの無断転記、複製はご遠慮ください。

アズビル株式会社
アドバンスオートメーションカンパニー

本社　〒100-6419　東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビル

北海道支店 ☎ (011)211-1136
東 北 支 店 ☎ (022)290-1400
北関東支店 ☎ (048)621-5070
東 京 支 社 ☎ (03)6432-5142
中 部 支 社 ☎ (052)265-6207
関 西 支 社 ☎ (06)6881-3331
中 国 支 店 ☎ (082)554-0750
九 州 支 社 ☎ (093)285-3530

<アズビル株式会社> https://www.azbil.com/jp/

ご用命は下記または弊社事業所までお願いします。

初版発行：2011年 10月-AZ
印　　刷：2021年 4月(第7版)-AZ

azbil

調節弁メンテナンスサポートシステム

PLUG-IN Valstaff

繋がる、人とフィールド　変わる、メンテナンス

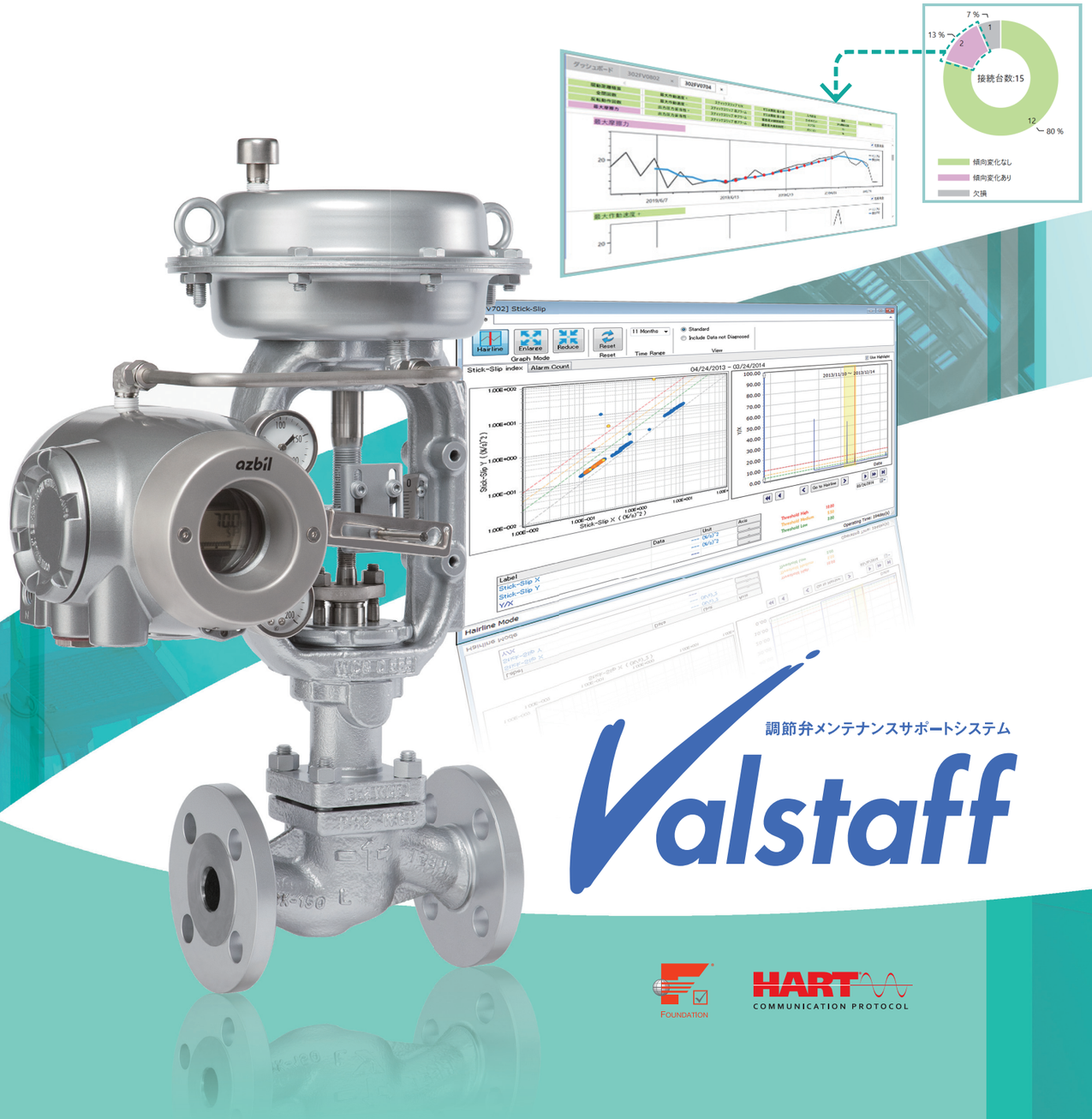
1. 運転中の突発トラブル・計画外停止の未然回避
2. 定修時の調節弁ストロークテストを圧倒的に効率化し、働き方改革に貢献
3. 定修終盤での緊急整備対応ゼロに貢献

アズビル株式会社

繋がる、人とフィールド　変わる、メンテナンス

調節弁の管理とオンライン診断で、調節弁メンテナンス業務を効率化

PLUG-IN Valstaffは、機器管理システムと組合わせて動作する調節弁メンテナンス
サポートシステムです。
フィールドの調節弁の稼働状況に関わる情報を収集し、調節弁メンテナンスに必要な意思
決定の支援、調節弁メンテナンス業務の効率化を行います。



調節弁メンテナンスサポートシステム

Valstaff

FOUNDATION

HART COMMUNICATION PROTOCOL

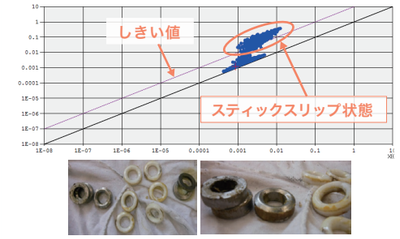
メリット

運転中の突発トラブル・計画外停止の未然回避に貢献

今まで見えなかった調節弁の状態を指標化し、不調の早期発見を支援します。

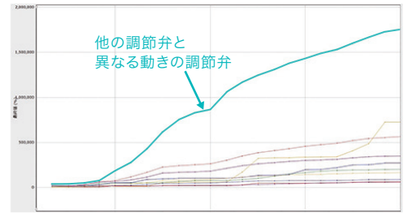
独自の診断技術で突発トラブルを未然に回避した事例

グランドパッキンへのポリマー付着による摺動異常を検知



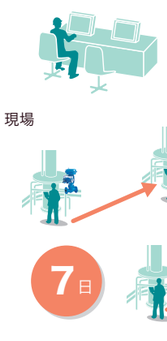
運転中の調節弁の作動状態を可視化

調節弁の作動状態を可視化し、同一プラントで使用されている他の調節弁と比較し、傾向の異なる調節弁を可視化



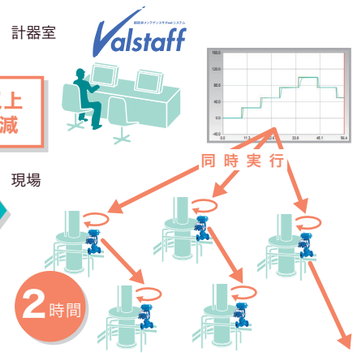
定修時の調節弁のストロークテストを自動化し、効率化と負荷低減を支援し、働き方改革に貢献

従来方法による調節弁200台のストローク検査



90%以上
工数削減

Valstaffよる調節弁200台のストローク検査



リストに登録したバルブを最大16台単位で連続検査
実行することで大幅な時間短縮

定修終盤での緊急整備対応ゼロに貢献

定修初期に自動ストロークテストを行うことで従来なら気づけなかった作動不良を発見し、定修終盤での緊急整備対応ゼロを支援します。

- オーバーシュート
- 全開できない
- ゼロ点の沈み込み（エロージョン）
- ゼロ点の浮き（締切りできない）
- 小さなハンチング